



西台中だより

2024 7月

板橋区立西台中学校

2024.7.17発行

校長 内田 善人

西台中ホームページ、ご覧ください

「学校日記」「おしゃもじ通信」ほぼ毎日更新中、年間20万閲覧を目指しています。

西台中学校ホームページでは「学校日記」で、その日の学校の様子を写真を交えてお伝えしています。「うちの子は何にも話してくれない。」「学校ではどんな生活をしているんですか。」「見に来るなと言われるんです。」とはよく聞く話です。イベントはもちろん、何気ない日常や発見を伝えていますので、ぜひのぞいてみてください。おうちでは見られない、お子様の一面があるかもしれません。コミュニケーションのきっかけになるかもしれません。「おしゃもじ通信」では毎日の給食を楽しく解説。最後に一問クイズを用意していますので、こちらもご覧ください。

西台中学校HP
「学校日記」

7月1日（月）8日（月）全校朝礼、生徒会朝礼校長講話

LGBTQについて考える「普通なんてない。みんなと違うのが当たり前なんだ。」

LGBTQ+

気を付けたい言葉は「自然に」「当たり前」「普通に」。

外で働くのは男性で家事をするのは女性が普通なの？

性についていろいろな形があるということ（①身体の性②心の性③好きになる性④表現する性）。

今までの考え方は男子＝青、女子＝赤のようだったが、これからは虹色にとらえていこう。

日本では人口の7.6%がLGBTと言われており（学級に約2人の割合）、その数に国や地域、文化や宗教、家庭環境や成育環境は関係はない。

約9割の子どもが、正しい知識を得ないまま大人になり、性同一性障害者の70%が自殺を考えるとこの深刻な事態。第二次性徴期に高まる自殺願望、周囲に1人でも理解者がいれば自殺願望をもつLGBTの子どもは30%減少するとも言われている。

これは命に関わる差し迫った問題で、寝た子を起こさないという考え方ではなく、積極的に発信していかなければいけないと考え、朝礼で二度にわたって話をしました。

生徒たちの考え（学年） ※朝会の後に生徒にFormsで2つの質問をしました

Q1.今回の話で重要だと思ったことを1つ挙げてください。

- レズビアンや、ゲイなどのLGBTQで悩む人達を受け入れることも勿論ですが、それを受け入れられない人達がいることを受け入れるのも多様性の一つだと思います。人それぞれ考え方が違うので、受け入れられない人達も当然いて、その考え方自体は悪いことではないと思うし、仕方ないことだと思います。しかし、そんな中でもお互いに違う同士受け入れる努力をすることが重要だと私は思います。（7年）
- 日本は、まだ、LGBTQ（少数派）の方の支援が行き届いておらず、性の考えについて差別的な意識をもっている人がたくさんいると分かりました。なので、これからは、少数派の方たちが安心安全に快適に過ごせるような社会をつくるために、色々な考え方、性のあり方があるということを知り、その考えを広めることが重要だと思いました。（7年）
- 自分と違う意見の人がいても無理に受け入れられなくてもいいから否定したりしないことが大切だと思った。（8年）
- 同性を好きになるのは異性を好きになるのと同じで不思議なことではない（8年）
- 今までの価値観や考え方で物事を捉えるのではなく今回聞いた話や考え方をもとにして考えることが大切なのではないかと思いました。（9年）
- 当たり前は人に押し付けてはいけず個人の考えを尊重することが当たり前になるべきなこと。（9年）
- 「性の多様性というのは人間の多様性」ということが一番重要だと思った。（9年）

※1ページからのつづきです。

Q2.LGBTQについてあなたやあなたの周りの人について気になっていることがあれば書いてください。

- 自分の親が「あなたは女の子なんだから女の子らしい振る舞いや話し方をしなさい」といってきて少しモヤッとした。(7年)
- 多分、自分は体も心も女性だけど、好きになる性は男女両方だと思うこと。(7年)
- 自分の性のあり方や、好きになる性のあり方がまだ決まっていなかったり、わからなかったりすることがあります。今回の話を聞いて、自分のいろいろな性のあり方についてもう一度見直して、考えてみたいと思いました。しかし、周りの人では、性についてのジョークを言ったり、「おかま」などのからかいをする人がいるので、そのような人たちにもLGBTQの考え方を広めるべきだと考えました。(7年)
- 私は同性愛について何も思わない普通のことだと思っているので、たまに批判している人を見かけたりするので、そういうことは私も嫌だなんて思います。(7年)
- 私はショートカットが好きで、スカートよりズボンのほうが好きです。でもその考えを親が認めてくれません。性別関係なくファッションを楽しみたいです。(8年)
- 自分は同性も異性も好きです。今まで友達にも嫌われたくなくて言えなかったけど今回の話を聞いて友達に言う勇気が出ました。自分たちが大人になるまでには同性婚が出来る社会になればいいと思っています。(8年)
- どのくらいの割合で理解してくれる人がいるのか気になります。(9年)
- LGBTQの子が周りにいるので、他の子よりは理解があると思うので、このままみんなと同じように接しようと改めて感じた。(9年)
- 「普通」という言葉がいかに排他的で残酷なものなのか、再認識できました。LGBTQの人々が特別だと思ってしまうから差別が生まれるのであって、自分の中の「普通」を疑って見なければならぬなと思いました。(9年)
- 自分はバイセクシャルです。でも、自分の周りではまだセクシャリティやLGBTQをばかにする風潮があるように思います。例えば、性別にとらわれない姿をしている人に対して「こいつLGBTの人みたいだよな」と言ったりする場面が見られました。また、信頼している友達に自分が異性だけでなく同性も好きというようなニュアンスのことを言ったことがあるのですが、その子が「え？同性が好きなの？」と引き気味な様子で言われたのを覚えています。世間では多様性とは言っていますが、完全にそうとは言えないと自分は考えました。(9年)

LGBTQについてを理解することは、ありのままの個性を互いに尊重できる社会をつくることであり、特定の誰かを助けるためではなく、全ての人にかかわる問題なのです。

生徒の活躍

板橋区立中学校総合体育大会

卓球

男子団体の部 第一位 (都大会進出)
男子個人の部 第三位 (都大会進出)

バスケットボール

女子 優勝 (都大会進出)

演劇部 夏公演『グ・リ・コ!』〈7/16体育館〉『白雪姫?』〈7/18特活室〉

ウィンド・アンサンブル部 東京都中学校吹奏楽コンクール 〈8/5練馬文化センター〉



剣道

男子団体の部 第三位 (都大会進出)
男子個人の部 第二位 (都大会進出)
女子個人の部 第二位 (都大会進出)

バレーボール

第四ブロック中学校夏季大会
順位決定戦 第八位



夏休み明けの行事予定

9月 2日(月) 始業式
11日(水) 学校公開日 学校説明会
17日(火) ~19日(木) 修学旅行 9年生
20日(金) 生徒会役員選挙立会演説会
水泳指導 終



10月 2日(水) ~3日(木) 中間考査
12日(土) 土曜公開日 道徳授業地区公開講座
第2回iCS委員会
15日(火) 後期委員認証式
26日(土) 文化発表会 ※弁当
28日(月) 振替休業日
30日(水) 9学年進路面談 (始)

